

平成 30 年度 第 4 回外来生物等対策部会 議事概要

日時：平成 30 年 11 月 13 日（火）14：15～16：30

場所：若狭三方縄文博物館 講座室

参加者：33 名

1 開会 あいさつ

2 アカミミガメ対策について

説明 三方五湖アカミミガメ防除計画について

- ・環境省アカミミガメ対策推進プロジェクトの一環として、三方五湖アカミミガメ防除実施計画の策定作業の説明があった。（計画策定にあたり実施した生息状況調査・食性調査・試行防除については、直前に開催されたセミナーで説明）
- ・三方五湖アカミミガメ防除実施計画書（策定作業中）について、部会員の意見に基づき「8 普及啓発」を追記した、幅広い人に読んでもらえるよう平易な言葉を用い全体で 20 ページ程度のボリュームにする、地元へアカミミガメアンケートを実施し約 200 通送付したところ、約 100 通返送があり、現在結果を取りまとめ中であり、計画に反映させる、と説明があった。
- ・三方五湖ではアカミミガメ対策に予防的な観点で取り組むことが重要である、と合意を得た。
- ・普及啓発活動については環境教育部会と、駆除地点の選定にあたっては自然護岸再生部会と連携する必要がある、と意見があった。
- ・部会としてアカミミガメ対策にどのように取り組むか、については次回部会で取り扱うこととなった。

質疑応答等

- ・三方五湖の調査時期は適切であったか？

→アカミミガメ成体は季節に伴う移動がほとんどないが、個体数は一定であっても、捕獲効率は時期によってバラつきがあり、今年 1 回の調査でそこまでは分からなかった。幼体は不明点が多く分からない。

（参加者補足）アカミミガメ幼体を高速道路高架下の個人の畑でみつけたと聞いたことがある。三方湖は 90%がコンクリート護岸でカメが上陸不能なことから、カメ産卵地点（孵化した幼体が生息するであろう地点）は縄文博物館前など限られるのではないか。

- ・アカミミガメが高密度に生息することで予測される被害は？三方五湖ではアカミミガメの被害がほとんど出ていない。アカミミガメが高密度に生息する地域での被害状況を詳しく教えてほしい。
- ・アカミミガメ成体は水生植物を好み、希少水生植物の食害が懸念される。フナ・コイの産卵場所がなくなってしまう。
 - ・静岡県掛川市では水田では稲の食害（水中部分をかじる）がある。
 - ・徳島県ではハスの食害がある。
 - ・兵庫県の河川では多量のアカミミガメが水中の水草を食いつくすので、河川底部の砂が流出し、河川環境が改変されている。その結果、カワムツ、オイカワしか生息していない河川もある。
 - ・滋賀県琵琶湖ではここ 10 年でアカミミガメの個体数が急増していて、漁業でカメが混獲されている。
- ・セミナーで紹介された他地域と比較すると、三方五湖の生息密度は低いように感じる。三方五湖ではどれくらいの頻度でアカミミガメ駆除を実施するのが理想か。年 1 回でも大丈夫か。

→三方五湖では定量的な調査がまだ実施されていないので、年1回では不安である。年2、3回調査・駆除を実施するのが良いのでは。

・市民参画型の防除活動のコツは？

→駆除活動におけるボランティアの受け皿を複数・具体的に作る（ex 普及啓発活動、捕獲作業）ことで、ボランティアが参加しやすくなる。市民活動にすることで継続性を担保できる。

3 外来魚（ブルーギル・オオクチバス）対策について

報告 県立大学によるブルーギル対策の取組み

- ・県立大学からこれまでの三方湖ブルーギル調査の結果（1年に6月と8月の2回の産卵期がある、冬季の越冬場所三方湖東部にある）、実施しているモニタリング調査は内水面総合Cの調査と増減傾向がおおよそ一致している点について説明があった。
- ・「三方五湖周辺におけるオオクチバス・ブルーギルの評価」は、次回部会に持ち越しとなった。

質疑応答等

- ・これまでの調査から、効率的にブルーギルを捕獲するにはどうしたらよいか？
- 越冬時に三方湖東部にブルーギルが集まる。越冬個体（成魚）を集中捕獲できれば、翌年のブルーギル稚魚を抑えることもできる。
- ・漁協の外来魚捕獲の取組みは？
- 漁で混獲された外来魚の捕獲数を計上している。集中捕獲は実施していない。
- ・外来魚の捕獲は在来魚が混獲される。選択的に外来魚を捕獲する手法はあるか。
- 電気ショッカーを使用し、外来魚を選択的に捕獲するのが確実。

4 若狭町農林水産課の取組みについて

報告 若狭町農林水産課による外来生物駆除対策について

- ・事務局から若狭町農林水産課による外来生物駆除対策について、取組み内容と取組結果の説明があった。
- ・「若狭町農林水産課による外来生物駆除対策の評価」は、次回部会に持ち越しとなった。

5 次回部会について

- ・次回部会の議題は下記のとおり
 - ・アカミミガメ対策について（次期計画での取組み内容）
 - ・オオクチバス・ブルーギル対策の評価（現行計画の評価、次期計画での取組み内容）
 - ・若狭町農林水産課による外来生物駆除対策の評価（現行計画の評価、次期計画での取組み内容）
 - ・ヒシ対策について（現行計画の取組み内容、成果、評価、次期計画での取組み内容）
 - ・ウシガエル対策について（現行計画の取組み内容、成果、評価、次期計画での取組み内容）
- ・次回部会は年内開催予定